

旧日田高等女学校28回生 同窓会50回超

戦時中の学生時代しのぶ

県立日田高等女学校第28回生クラス会



同窓会を50回以上続けてきた旧日田高等女学校の28回生

旧日田高等女学校(現日田高校)の28回生が日田市天瀬町で毎年恒例の同窓会を開いた。太平洋戦争開戦直後の1942年に入学し、終戦後の46年に卒業した「戦中世代」だけに結束が強く、これまでに50回以上も同窓会を開いてきたという。

1日の同窓会には、市内外から16人が参加した。冒頭、亡くなった同級生に黙とうし、校歌を斉唱した。世話役の武原恵美子さん(86)が「面白い話をたくさん聞かせてもらって、28回

も続けて元気に参りました」と呼び掛けると、参加者が「みんなが集まっただけでもう元気になりました」と答える場面もあった。武原さんによると、28回

生は43年の学徒動員令後、来る日も来る日も軍服をミシンで縫ったり、農作業をしたりと勤労奉仕に励んだ。空襲警報を聞いて、みんな防空壕に駆け込んだこともあったという。会では「英語はディスプレイアペンしか習わなかった」「サツマイモ畑になった運動場で農作業に明け暮れた」など、思い出話が尽きなかった。

以前は関東や関西などで会を開いていたが、高齢化に伴いここ10年ほどは同市天瀬町で開催。卒業から70年近くになり、参加者は年々少なくなっている。武原さんは「これからも続けたいが、年を取って体がきつい人もいます。今後はなりゆきに任せます」と話した。